

～ 人権・同和教育だより ～

「空に風 人に愛」

島根県立浜田高等学校  
定時制・通信制課程

第3号 2021. 6. 28 (月)

## < 人権意識調査（通信制）について >

通信制課程では5月半ばに「人権意識調査」を発送しましたが、提出締切を6月8日(火)としていましたが、77名の生徒のみなさんが提出してくれました。ご協力ありがとうございました。



この調査は「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、生徒の皆さんがいじめを受けていないかを点検し、安全・安心・快適な学校生活を送れるようにするためのものです。ここでは、人権意識調査の集計結果の概要をお知らせします。

問1～問6（「いじめ」に関する内容）では、

現在「いじめ」をしていると答えた人は0人でした。

一方で、現在「いじめ」を受けていると答えた人が数人いました。

質問用紙に『いじめ』の定義を載せましたが、された人が心身の苦痛を感じていれば「いじめ」です。自分は「いじめ」をしているつもりはなくても、ひょっとしたら相手は嫌だと思い、「いじめられている」と感じているかもしれません。一人ひとり、相手の言動によってどう感じ、どう受けとめるかは違います。だから、相手をよく知ることや、相手の気持ちを考える想像力が必要になると思います。

「いじめ」についての考えとして、

①「相手がいやな気持ちになる限り、いかなる理由があっても「いじめ」は許されない」を選んだ人の割合が一番多かったです。

一方で、

②「今の社会や学校の体制が変わらない限り、「いじめ」をなくすのは無理である」を選んだ人も多くいました。

皆さんには、①の思いを持っていて欲しいと強く望みます。「いじめ」は許されない、「いじめ」をする人が間違っている、という認識を一人ひとりが持ち、周囲の人たちと関わっていくことで、少しずつであっても社会や学校は変わっていくはずです。人や環境のせいにはせず、自らが変わり、変えていく、そういう意識を持てる人であってほしいですし、嫌な思いをさせられる人やさせた人を見たり聞いたりする人がいない、みんなが安心して気持ちよく過ごせる学校にしていきたい、と思います。

問7では、「同和地区」（被差別部落）に関わる差別が現実にあると思うか、という質問をしました。

「わからない」「同和地区（被差別部落）が何かわからない」を選んだ人が多かったです。

「同和地区」は「被差別部落」を指す行政用語です。「同和地区」とは、歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域のことを指します。法律の制定や対策事業によって改善された面も多ありますが、一方で今もなお偏見が根強く残っています。結婚差別、身元調査を行うなどの就職差別、差別落書き等の他、最近ではインターネットを悪用して差別を扇動するなどの差別事件も起こっています。あからさまに差別的な言動をとる人はほとんどいません。だから、普段の生活の中で部落差別があると意識することはないかもしれません。でも、残念ながら現代の社会にも部落差別は現存しています。みなさんが差別にであった時に気づき、おかしいと感じ、差別を許さない人であってほしいと考えます。そのためにも、あふれているインターネットの情報に流されたり惑わされたりせず、正しい知識を得て、自分で考え、正しく判断できる力をつけてほしいと思います。

問8・問9では、就職差別、結婚差別など、本人に責任のない様々な差別について質問しました。

大多数の人が「許せない」と答えた一方で、「仕方がない」「何とも思わない」と答えた人もいました。

「いじめ」と同じく、差別は許されないものです。あきらめたり、傍観したりすることは、「いじめ」や差別を許すことにつながります。「いじめ」や差別に、第三者という立場はありません。同じ集団、社会に自分が存在している限り、全ての人が当事者です。

そのような自覚を持ち、**主体的に積極的に「差別をしない」生き方を選択できる人**であってほしいです

問10・問11では、

「今の社会や学校・家庭などで自分の人権が保障されていると思いますか」

「どのような点で、自分の人権が保障されていると思いますか」と聞きました。

「自分の人権が保障されている」と選び、書いてくれた皆さんの答えをいくつか紹介します。

- ・必要最低限の生活ができていると感じる。
- ・学校に行って差別されることなく授業を受けられている。
- ・自分の意見を尊重してもらえていると感じる。
- ・自分に合った対応をもらえる。
- ・自分に学校での学びを与えてくれる人がいる。
- ・たくさんの人との関わりを持っている。
- ・いろいろな人が声をかけてくれる。
- ・衣食住に困っていない。
- ・大事に育ててもらっている。
- ・勉強できる環境を与えてもらっている。
- ・先生たちがやさしくしてくれる。
- ・差別や嫌がらせのようなことをされない。
- ・話を聞いてもらえる。
- ・頑張ろうとしたことに対して、様々な面で支えてもらっている。
- ・不登校の時期があったけど、みんな関係なく話しかけてくれたり、応援してくれたりする。



「人権」とは、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。

みなさんが書いてくれたものを読んでいて、とてもまっとうな人権感覚を持って生きている人が多いこと、日々の「あたりまえ」だと思われる幸せを、自分に保障されている大切なこととして受けとめている人がいることを、うれしく思いました。ぜひ、その感覚を大切にしていってほしいと思います。

## < 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種についての配慮 >

新型コロナウイルスワクチンの一般接種が県内でも始まろうとしています。新型コロナウイルスのワクチン接種を受けることは、強制ではなく任意です。また、体質や持病等の状況や本人の健康状態など、様々な理由で接種を受けることができない人もいます。以下のような行為等が行われることがないようにしましょう。

- ・接種の有無を問いただす。
- ・接種を強制したり、接種を強く促したりする。
- ・接種を受けていない人に対して、不利益な扱いや差別を助長する行為をする。  
(いじめ、仲間はずれ、誹謗中傷等)

県教委より啓発用のチラシが後日送付される予定です。学校に届き次第、生徒のみなさんを通じて配布します。

(人権・同和教育担当：岡崎)